

# 全圏域の感染警戒レベルを4から3とし 「特別警報Ⅰ」から「警報」に切り替えます

令和3年6月4日

新型コロナウイルス感染症長野県対策本部

## 1 趣旨

4月中旬をピークとして一旦減少に転じた新規陽性者数がゴールデンウィークを境に再び増加に転じたことや、従来株から変異株への置き換わりが急速に進んだこと等を勘案し、5月21日に全圏域の感染警戒レベルを4に引き上げ、「新型コロナウイルス特別警報Ⅰ」を発出し、感染状況が比較的落ち着いている圏域も含めて、全県で統一的な強い対策を講じてきたところです。

レベル4への引上げから14日間以上経過し、全県の直近1週間の新規陽性者数は102人（人口10万人当たり5.00人）と、全県レベル4引上げ時の264人（人口10万人当たり12.95人）を大幅に下回っています。また、県内の10圏域全てがレベル3相当以下となっているほか、全国的にも新規陽性者数の減少が継続しており、全県で統一的にレベル4相当の強い対策を講じる必要性は低下したものと認められます。このため、6月5日から全圏域<sup>\*</sup>の感染警戒レベルを4から3とし、「特別警報Ⅰ」から「警報」に切り替えます。

<sup>\*</sup> 伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、南箕輪村及び宮田村は6月6日からレベル3（6月5日まではレベル5）

なお、レベル2相当以下となっている圏域もありますが、全県には「医療警報」を発出中であり、全国的には緊急事態宣言が発出されている地域もあることから、当面はレベル3として感染拡大への警戒を続けることとします。

## 2 県民・事業者の皆様へのお願い

新規陽性者数は減少傾向にありますが、実質病床利用率は26.3%と依然として25%を超えており、全県に「医療警報」を発出している状況です。第4波を収束に向かわせ、医療提供体制への負荷を軽減するために、県民及び事業者の皆様におかれては、特に次の点にご協力をお願いします。

### (1) 「正しく」、「適切に」感染予防策を講じてください

従来株からほぼ置き換わったことが推定される変異株であっても、これまでと同様の感染予防策が推奨されていますので、別紙「やっているつもりは要注意」をご確認の上、「正しく」、「適切に」感染予防策を講じてください。

### (2) 感染拡大地域との不要不急の往来はできるだけ控えてください

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が延長されるなど、全国的には、依然として予断を許さない状況が続いていますので、県外への訪問や帰省等の往来については、慎重に検討をお願いします。特に、感染拡大地域<sup>\*</sup>との不要不急の往来はできるだけ控えてください。

<sup>\*</sup> 直近1週間の人口10万人当たり新規陽性者数が15.0人を上回っている都道府県。県ホームページで随時お知らせいたします。

## マスクの着用

- ✓ 飲食店における飲食時も含め、人と会話をする際は必ず着用しましょう。  
→ マスクを着用していないときは人と会話をしない。
- ✓ できるだけ不織布マスクを着用しましょう。  
→ 一般的なマスクでは、不織布、布、ウレタンの順に効果があるといわれています。
- ✓ マスクをしていても最低1メートルは人との距離を取りましょう。

## 十分な換気

- ✓ 屋内などで人と一緒にいるときは、広い空間でも換気を徹底しましょう。  
→ 職場（会議室）やお店、教室（部室）や体育館、自動車の中など。
- ✓ 換気が不十分な密閉空間は避けましょう。

## 手指消毒 手洗い

- ✓ 適切なタイミングで行いましょう。  
→ マスク着脱の前後、食事準備の前、飲食の前、顔や口に触れる前後、トイレの前後、ドアノブ・スイッチ・パソコンなどの共用部分に触れた後 等
- ✓ 適切な方法で行いましょう。  
→ 手洗いは30秒程度かけ、水と石鹸で丁寧に。  
→ 手洗い後は清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取る。  
→ アルコール消毒は必ず手を乾かしてから使用

## 早めの受診

- ✓ 発熱やせきに限らず、のどの違和感や鼻水、だるさ、味覚・嗅覚の異常など、いつもと体調が違うときには、早めにかかりつけ医等にまずは電話で相談しましょう。  
→ 早期発見、早期対応が重症化予防と感染拡大防止につながります。

